

8. 福井城跡

所在地：福井市手寄1丁目

調査原因：北陸新幹線福井駅（東口）拡張施設整備事業

調査期間：令和2年6月15日～同年8月21日

調査主体：福井市教育委員会

調査面積：600㎡

時代：近世

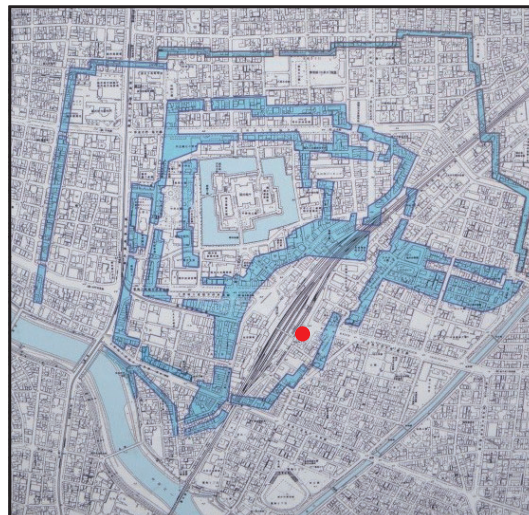
調査の概要 調査地は、えちぜん鉄道福井駅の南側の場所です。この付近は福井駅前にあった百間堀の東に位置する曲輪で、当時、武家屋敷が建ち並ぶ一帯でした。福井駅周辺では、区画整理などに伴う発掘調査が行われています。これらの成果や絵図を参考にすると、調査地は曲輪の中央やや東に位置する南北向きの道及び道に面した武家屋敷地の正面にあたります。

調査は、東口と福井駅を繋ぐ通路を境に北と南にわけて実施しました。

遺構 今の地面より約60cm下で江戸時代の道跡が見つかりました。南北方向（今の鉄道高架に沿う）に延び、幅約5mを測るもので、路面に砂利が敷かれていました。この道跡より西側（駅側）が屋敷地となります。屋敷地内では、道端より約2m離れた場所で道に沿って延びる溝跡内に並ぶ柱穴のほか井戸跡や池跡がありました。

遺物 遺物量が大変少ない上に、灯明皿や陶磁器の小破片ばかりが江戸時代の整地土内から出土しています。

まとめ 今回の調査では、道に沿って延びる溝が柱を伴う建物の基礎にあたりと考えられます。これまでに道際の建物の存在を知る資料は少なく、屋敷の構造をうかがい知る貴重な発見となりました。（三澤繁忠）



位置図 (S=1/50,000)



写真1 屋敷内状況（北側調査地）



写真2 屋敷内状況（南側調査地）